

会 議 録

会議の名称及び会議の回	令和8年度 飯田市社会教育委員会議 第1回臨時会
開催日時	令和8年4月15日（水）午後6時30分～7時35分
開催場所	飯田市役所 C311号会議室、およびZOOM会議
出席委員氏名（敬称略） 市役所参加	伊藤緑、今村智子、今村光利、小西盛登、竹内稔、 中村由美子、長谷部智子
出席委員指名（敬称略） ZOOM参加	北原重一、熊谷弘、後藤正幸、三浦宏子
出席事務局職員	熊谷教育長、秦野教育次長、堤社会教育担当参事兼国民スポーツ 大会推進室長、上沼教育政策課長、伊藤学校教育課長、松澤教育 センター所長、木下生涯学習・スポーツ課長、下平文化財保護活 用課長、小林公民館副館長、筒井文化会館館長、矢澤中央図書館 館長、牧内美術博物館副館長兼歴史研究所副所長、本島生涯学 習・スポーツ課長補佐兼社会教育係長、小島社会教育担当専門主 査、樋口主事、林教育支援指導主事
会議の概要	以下のとおり

1 開会

（小島 社会教育担当専門主査）

ただいまから、令和8年度社会教育委員会議を始めさせていただきます。進行いたしますのは生涯学習・スポーツ課の小島です。よろしくお願いいたします。なお、本会議は録音をして、お名前を含めた議事録を公開いたします。ご了承ください。

本日の会議、市役所にご参集いただいたのは、伊藤委員、今村智子委員、今村光利委員、小西委員、竹内委員、中村委員、長谷部委員です。オンラインのご参加が、北原委員、熊谷委員、後藤委員、三浦委員となっております。また、森本委員はご欠席のご連絡をいただいております。

2 あいさつ

（熊谷 教育長）

皆さんこんばんは。春たけなわのところでありますが、お集まりいただきありがとうございます。今回は臨時会ということで時間的には短いですが、重要な内容もあります。また、教育委員会も人事異動がありまして、大きく社会教育関係のメンバーが新しくなりました。参事という職もできましたので、その自己紹介も大事にしたいということで、オンラインの方が新しい着任の職員も知っていただけるので、いいなと思っております。

社会教育委員の皆様には、昨年度も会議等に出席いただいたり、近々ある行事や、みらい創造教育推進フォーラム等もご参加いただいたりしておりましたことに感謝を申し上げます。今年度もそういった社会教育、あるいは学校教育に関わるようなところにご参加いただいて、ご助言をいただくとありがたいと思っております。

今年度から、昨年度少し紹介しましたが、飯田市の教育大綱が決まってきました、基本的には私たちが教育振興基本計画の中で示している「ムトスの学びで未来をつくる」ということを今年度も大事に考えたいと思っております。特に基本方針のところ「飯田市民誰もが、私の問いや願いをもとに学びを深め、好きや得意を見つけて共感し合う『ムトスの学び』を積み重ね、輝きやうおいのある豊かな暮らしを実現します」という言葉がございます。また「大切にすべき視点」では「一人一人が置かれた状況も、求めるものも違います。未熟さもつまずきも成長の一步として受け入れ、それぞれの違いを認め合い、その人らしいペースに寄り添うことを大切にします」と示しております。少子化や高齢化、あるいは地域への参画が難しくなっている状況が課題として上がっていますが、オンラインも便利になった一方で、昔に比べると実感などが変わってきている中で、それぞれの違いを認め合いながら、好きや得意を生かして新たな集まりを作っていくことがすごく大事な場面かと思えます。今まで「ねばならない」でやってきたことも持続可能が難しい状況になってきたとすれば、新たな活動が人と人の繋がりを作っていく、そんな時代にこれからならざるを得ないし、なっていく必要があるのだろうと改めて感じておるところでございます。

そういう中で、4月が始まったところで黒田人形浄瑠璃の奉納上演に呼んでいただき、市長と共に参加してまいりました。中学生、高校生が黒田人形保存会の皆さんと一緒にその舞台を作り上げておりました。まさに「ムトスの学びで未来をつくる」ためには、こどもたちと大人の皆さんと一緒に地域を作っていく活動がこれからますます求められていくと感じました。黒田人形浄瑠璃は、特に高陵中学校の太夫や三味線など、非常に練習を積み重ねており、その練習には地域の方が本当に熱心に関わっていただいており、感動する舞台を拝見したわけです。そんな姿を飯田市の中でもあちこちに求めていけるといいなと感じておるところでございます。私からは以上でございます。本日はよろしく願いいたします。

3 委員・職員自己紹介

(小島 社会教育担当専門主査)

続きます委員・職員の自己紹介に入りたいと思います。

〈委員・職員自己紹介〉

4 説明・確認事項

(小島 社会教育担当専門主査)

では、次の項目に移りたいと思います。説明・確認事項です。(1)飯田市教育委員会の組織についてと、(2)いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2026(令和8)年度】につきまして、社会教育担当参事から一括してご説明を申し上げます。社会教育担当参事、説明をお願いいたします。

(1)飯田市教育委員会の組織について

(堤 社会教育担当参事)

それではお願いいたします。私からまず1つ目の飯田市教育委員会の組織についてということで、資料2をご覧くださいと思います。すでに委員の皆様2年目でございますので、今任期は確認の意味でお聞きいただければと思います。

資料2ですが、「飯田市教育委員会の組織及び社会教育委員の位置づけ」ということで図をお示ししてございます。飯田市社会教育委員会には、飯田市教育委員会から委嘱をさせていただいております。12名の委員の皆様で構成をさせていただいております。社会教育委員の皆さんの任期は2年ということでございまして、教育委員会に対して社会教育に関する助言をしていただくことが主な任務となっております。この助言をしていただくにあたっての職務といたしましては、1つ目として社会教育に関する諸計画を立案すること。2つ目として、教育委員会の諮問に応じ意見を述べること。3つ目として、前述の職務を行うために必要な調査研究を行うこと、とされております。

また、教育委員会のもとには、教育次長、そして数年ぶりの配置となりました社会教育担当参事、教育行政機関と教育機関で構成する市の組織がございます。今年度、社会教育担当参事というポストが復活されたことによりまして、公民館、図書館、美術博物館、歴史研究所、文化会館の教育機関と、教育行政機関の生涯学習・スポーツ課、そして国民スポーツ大会推進室、この事務を社会教育担当参事が担うということになりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。教育委員会の組織及び社会教育委員の位置づけは以上でございます。

(2)いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2026(令和8)年度】の説明

(堤 社会教育担当参事)

続きまして、いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2026(令和8)年度】の説明をさせていただきます。分厚い資料をお送りしており恐縮ですが、資料3をご覧いただきたいと思います。このいいだ未来デザインというものでございますが、平成29年度から令和10年度までの12年間の計画とした飯田市の総合計画というものでございます。12年間の計画期間は4年間ごとに前期、中期、後期と区切りをしまして、令和8年度はこの総合計画の総仕上げとなる後期計画の2年目ということでございます。その後期計画4年間で取り組む基本目標、戦略、考え方でございますが、これらに基づきまして1年間の具体的な取り組みとしてまとめたものが、この資料3の戦略計画というものになります。

後期計画においては、表紙をめくっていただきますと、7つの基本目標を掲げております。その中で社会教育行政・機関に関する目標でございますが、基本目標1、基本目標3を中心にしまして、一部基本目標2が関係してまいります。本日この基本目標1と3の今年度の主な取り組みについてご説明をさせていただきます。まず基本目標1でございますが、9ページをお開きいただきたいと思っております。基本目標1は「市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる」という目標としてございます。この目標を達成するための後期4年間の戦略で社会教育に関するものは、上から2つ目の黒ダイヤ「地域の問題や関心事について、学習活動や実践活動など住民が主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、地域を支える多様な人材の育成につなげます」。さらにその下のダイヤ「未来の担い手である子どもたちにとって『将来も住み続けたいまち』であるため、地域全体で子どもを育む様々な取組を行います」というところになりますが、具体的な取り組みとして12ページをお開きいただきたいと思っております。12ページの中段、小戦略2をご覧いただきたいと思っております。「持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援」、ここにおいて地域の資源を生かした「ムトスの学び」を推進してまいりたいと考えております。主な事務事業としましては、まず文化財の活用におきましては、恒川遺跡群の整備を進めまして、歴史交流館の開館準備を本格化させてまいります。また、住民主体の学習活動として各公民館において住民の問いや願いを起点とした多様な学習活動や実践活動を、対話と共感を大切にしながら支援をしてまいります。さらには先人に学ぶ活動として、美術博物館において田中芳男没後110周年を記念した特別展を開催しまして、地域の先人の功績を知ることで、自ら社会に役立とうとする心を育んでまいります。

9ページにお戻りいただきますが、さらにここでの戦略としては下から4つ目の黒ダイヤ「伝統文化や人形劇など文化の継承と発展、新たな文化を創造する集いの場としての文化会館の整備に向けた取組、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます」という戦略がございます。こちらの具体的な取り組みとしましては15ページの小戦略6「市民による文化芸術の

創造と生涯にわたってのスポーツの振興」におきまして、文化・スポーツを通じた地域の活性化と機運の醸成に取り組んでまいりたいと考えております。飯田人形劇フェスタの持続可能な運営体制を検討していくということと共に、オーケストラと友に音楽祭などを通じまして、こどもたちが本物の舞台芸術に触れ参加できる機会を提供してまいります。また、2028年の信州やまなみ国民スポーツ大会に向けまして、庁内外の実施体制、組織の構築を早急に進めると共に、会場設計の概略などを固めてまいります。併せて2028年の開催に向けた機運醸成を図ってまいります。

続きまして基本目標3、23ページをお開きください。基本目標3は「飯田（ここ）で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる」を目標としてございます。この目標を達成するための戦略といたしましては、戦略の2つ目の黒ダイヤ「発達段階に応じて自然や文化・芸術に触れ、多様な人と関わる実体験や経験、地域との関わりを持ちながら、生涯にわたって、主体的に他者と協働しながら自らの未来を描き、その実現に向けて生き抜いていける力の基礎を育みます」という戦略でございます。具体的な取り組みとしては、27ページの小戦略3でございます。「地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える」。ここにおきまして地育力を活用してこどもたちが地域と深く関わる機会を創出してまいりたいと考えております。まず若者の探究学習への支援としまして、公民館において高校生を対象としたカンボジア、また東北へのスタディツアーを引き続き支援してまいります。また飯田OIDA長姫高校の地域人教育を支援していくとともに、ムトスぷらぎでの「ジブンラボ」による伴走支援を継続いたします。みらい創造教育の推進では、各学校が地域と協働で行う「みらい創造科」や職場福祉体験での学習活動等を支援してまいります。そして部活動の地域展開におきましては、公認地域クラブへの活動支援、それと共に指導者の確保・育成にも取り組んで、持続可能な運営体制の構築を進めてまいります。図書館においては「こどもタイム」というものを本年度より定期的に設定をしまして、家族で気軽に読書を楽しめる環境を整えます。このこどもタイムは美術博物館においても実施することとしておりまして、おしゃべりをしながら展示を見たりすることで親子の触れ合いや絆を深めていただく機会を提供してまいります。さらに美術博物館においては、夏休みの「ワクワクびはく」や「中学生造形教室」など開催し、学習や創造の成果を発信してまいりたいと思います。

簡単ではありますが、以上が今年度の戦略計画における社会教育行政機関の主な取り組みということでございます。いずれにしましても取り組み状況につきましては、次回以降ご報告の場もあろうかと思っておりますので、ご報告もさせていただきたいと考えております。説明は以上であります。よろしく願いいたします。

5 協議事項

(1) 座長、副座長の選出について

(木下 生涯学習・スポーツ課長)

それでは座長、副座長の選出について、皆様からご意見を頂戴できればと思います。いかがでしょうか。もし特になければ、こちら事務局の原案を発表させていただくという形でお願いさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

〈賛同あり〉

ありがとうございます。そうしましたら、昨年度に引き続きまして、座長に後藤委員、副座長に三浦委員にお願いできればと考えております。よろしいでしょうか。

〈拍手多数〉

ありがとうございます。座長、副座長、それぞれに一言ずつご挨拶をお願いいたします。後藤座長からお願いします。

(後藤 座長)

また座長という立場でございますけれども、社会教育委員の皆さんと会議のところでまた一緒になって色んな情報交換するのが大変私も勉強になっております。そんな意味で、どうか皆さんよろしくをお願いをしたいと思います。お世話になります。

(三浦 副座長)

昨年に引き続きまして副座長ということで役をいただきましたので、後藤座長がしっかりしているの、私は横に座っているだけだなと思っておりますので、皆さんよろしくをお願いいたします。

(木下 生涯学習・スポーツ課長)

では、ここから先は座長、進行をお願いいたします。

(2) 審議会等への委員の選出について

(後藤 座長)

わかりました。しっかりしていると言われたわけでございますが、どうかお支えをいただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。それでは次第に従いまして、ただいま協議事項の中の

(2)になりますけれども、審議会等への委員の選任について、まず事務局から説明をいただければと思いますが、よろしく願いいたします。

(小島 社会教育担当専門主査)

資料の4番になります、「令和8年度 審議会等への委員の選出について」をご覧ください。網掛けの部分がまだ決まっていない委員でありまして、それ以外は複数年の任期となっております。昨年度すでに決まっている委員でございます。その網掛けの委員ですが、まず「飯田市みらい創造教育推進協議会委員」ですが、幼児期、初等・中等教育期までの発達段階に応じた体系的なみらい創造教育の推進について、年に2回程度協議会にご参加いただきご意見を頂戴したいというものでございます。また2月にはみらい創造教育推進フォーラムもございまして、そちらへもご出席をお願いできればと考えております。委員の任期は1年であります。またこのフォーラムについては社会教育委員の皆様全員にお声がけをさせていただく予定でございます。次に「わが家の結いタイム推進協議会」ですが、飯田市では家庭で親子と一緒に過ごす触れ合いの時間を「わが家の結いタイム」と呼んで推進してございます。委員の任期は1年で、この委員に関しましては校長会から選出されていらっしゃる方に出させていただいておりますので、北原委員にお願いしたいと考えております。従いまして、本日は「飯田市みらい創造教育推進協議会委員」をお決めいただければと思います。

(後藤 座長)

ありがとうございました。事務局には案がございますでしょうか。

(小島 社会教育担当専門主査)

ありがとうございます。案を考えてまいりましたので、発表させていただいて、ご検討いただければありがたいと思います。飯田市みらい創造教育推進協議会委員ですが、昨年度から引き続きまして中村委員にお願いできればと考えております。

(後藤 座長)

ありがとうございました。今、事務局の方の案ということでお聞きをしたんですけれども、委員の皆さん方いかがでしょうか。

(拍手多数)

ありがとうございました。それでは事務局からご提示いただきました資料4の空欄になっているところ、お決めいただきましたのでそのようにお願いをしたいと思います。ありがとうございました。それでは本日の協議の方はこれで終わるわけでありませけれども、次第の6になります、教育委員会各課・館・所からの報告事項ということでございますが、これ以降後ろまで事務局の方で進めていただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。事務局お願いいたします。

6 教育委員会各課・館・所からの報告事項

(小島 社会教育担当専門主査)

後藤座長、進行ありがとうございました。ではここからまた事務局で進行させていただきます。では6番、教育委員会各課・館・所からの報告事項に移ります。各所からお配りした資料は、公民館の活動記録集、これは委員の皆様方のみにお配りさせていただいております。続いて文化会館の「toi toi toi」、図書館の「こどもタイム」、美術博物館の「年間スケジュール」となっております。併せて近々開催されます「第52回いいだ子どもまつり」と「おもしろ科学大実験2026」のチラシもお配りさせていただいております。これについてご説明をお願いいたします。

(小林 市公民館副館長)

市公民館の小林です。事前送付資料の中に黄色い表紙のものですがお配りをさせていただきました。令和7年度の公民館各地区の活動の記録となっております。厚い資料となっておりますけれども、また時間ある時にお通しいただきながら、市公民館としてもこの令和7年度の活動を振り返りながら、令和8年度をスタートさせていただいております。また引き続きよろしく願いいたします。

(筒井 文化会館館長)

文化会館から「toi toi toi」というこの冊子を事前にお手元にお配りさせていただいてあると思います。中身は、オケ友（オーケストラと友に音楽祭）の記事が1ページ目から出ております。その後ろの方には今田人形座等のレポートも入っておりますので是非またゆっくりご覧いただければと思います。さらに皆様には今日参事からもお話がありましたオケ友のご案内を事前に差し上げていると思いますが、5月4日の日に音楽クリニックの視察、さらに5月6日の日にはまた会おう会ということでご案内差し上げております。ハガキで出欠をとということですので、ハガキがまだお手元にある方はお送りいただければと思います。文化会館からは以上です。

(矢澤 中央図書館館長)

先ほど堤参事の方から丁寧に説明していただきましたので、少し補足程度に説明させていただきます。図書館と美術博物館でこの4月から「こどもタイム」というものを始めました。これは時間を設定して、この時間は是非親子連れでゆっくり館内でお過ごしくださいとPRするものが一番の趣旨になっております。こちらを設定した背景といたしましては、図書館が以前実施したアンケートですとか、子育て支援施設「つどいの広場」などで親向けに図書館のPRをしていますと、やはり「図書館は静かなところという印象があって、こども連れだと利用しづらい」ですとか、「こどもが泣いてしまう、声を出してしまうから迷惑がかかってしまいそうで利用しづらい」というような声があります。また、館内でお過ごしいただいている親子連れさんを見ていまして、こどもが普通に話しかける声も制限されて「小さい声でね」と親御さんが声をかけている姿も見られます。図書館、美術博物館どちらも、親子で会話をしながら、触れ合いをしながら、ゆっくり本や展示を楽しんでいただく、そんな時間がこどもたちの心も育てていくんじゃないかということで、図書館や美術博物館に気軽に足を運んでいただきたい、足を運ぶきっかけとしてほしいということでこの時間を設定いたしました。社会教育委員の皆様も周りの方にも是非PRしていただいて、図書館や美術博物館に足を運ぶきっかけとしていただければと思っております。また年間通して色々な企画を「こどもタイム」に合わせて行っていきますので、そんなこともまたご案内していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(牧内 美術博物館副館長)

今「こどもタイム」の話がございましたので、それを先に少しお話をさせていただきたいと思っております。資料がなくて申し訳ございません。美術博物館では「美博トークフリータイム」と名付けまして、9時30分から12時30分までを、親子で気兼ねなく会話できる、そういう時間を設けております。開催日につきましては図書館と同じで、毎月第3日曜日の「結いの日」を充てるということでございます。今図書館から話ございましたけれども、やはり美術館・博物館というものは静かな場所という概念がございますので、話をするということが自体は特別になるかと思っておりますが、元々非日常空間として日常の喧騒を離れて絵画の鑑賞に浸りたいという方もいらっしゃるわけですので、今回の取り組みにつきましては、子育て世代の方にこどもを連れて観覧しやすい環境をつくっていくということを周知すると共に、この取り組み自体が、小さなこどもがいることで図書館や美術博物館に来ることを控えてしまわないようにする、来館する方の間口を広げる取り組みとして周知して理解していただくこと、それも大事な事かなと考えております。そのために

「こどもタイム」につきましては、ホームページ等通常の手段で発信しながらも、こども連れでない一般の観覧者向けにも美術博物館の館内で張り紙やサイネージ等で、取り組みについて趣旨等も説明しながら理解してもらうような、そんな取り組みも必要かと考えております。やってみないと分からない部分もまだまだありまして、来館される方がどういう反応されるかというのはありますので、試行錯誤もあるかと思えますけれども、走りながら考えてやっていこうと考えております。

「美博トークフリータイム」以外では、季節やその時の展示の内容に合わせて、できる範囲でこども向けに色々やっていこうと考えておりまして、4月はまずトークフリータイムだけということになりますが、5月は5月17日を「田中芳男と国際博物館の日」としてこどもが参加できるイベントを考えておりまして、「城下町を歩いて『時の番人』をさがそう」と名付けた、田中芳男の地である飯田市街を巡る見学会を実施します。また日赤奉仕団の方が、「飯田市出身の物産学者、博物館の父 田中芳男」の紙芝居を作成していただきましたので、これを講堂においてプロジェクターで投影して演じてもらうという、こどもが参加できるイベントも併せて用意しております。6月につきましては、プラネタリウムで小さなこども連れを対象にしたイベントを今計画しているところがございます。あと、本日お配りしました令和8年度の美術博物館・考古博物館の年間スケジュールでございますけれども、3月10日の会議に配布できませんでしたので本日配布させていただきます。展示では、今年6月ですが創立80周年の「第82回南信美術展」を、いつも公民館で開催していましたが、美術博物館を会場に開催予定でございます。あと「長谷川善和コレクション」の企画展を7月から10月にかけて行い、今年度一番大きな事業としましては、表紙にございますが、特別展「没後110周年 田中芳男大博覧会」ということで、10月10日から11月15日まで特別展を開催する予定でございます。あと、こども向けにも先ほど堤参事から話があったのですが、こどもの創造活動の機会を作るということで「こども美術学校」や「中学生造形教室」、写真賞として続けております「藤本四八小中高校生写真賞」、あとは8月8日に親子で美博に親しんでもらうということで「ワクワクびはくで夏休み」と開催していく予定でございます。長くなりました。以上でございます。

(小島 社会教育担当専門主査)

ありがとうございました。これ以外にご発言のある課長さんいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは7番の項目に移りたいと思います。今後の日程でございます。

7 今後の日程

(小島 社会教育担当専門主査)

今後の日程につきましては次第に記載してございますが、3月の会議の時と同じですので、それぞれにご確認をお願いいたします。なお、表の一番上、4月22日の飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会ですが、ここには正副座長と書いてございますが、参加いただくのは資料4の表にありますとおり、後藤座長と今村委員となります。申し訳ありませんがよろしくをお願いいたします。

8 その他

(小島 社会教育担当専門主査)

その他でございますが、委員の皆様からご発言があればお願いいたします。

(三浦 副座長)

三浦です。せっかくチラシが入っているので少し細かく説明したいかなと思いますけれども、「おもしろ科学大実験 2026」というチラシが入っていると思います。これ5月の2日と3日に行うんですけども、オープン当初からなので今考えて27回目くらいなのかなと思っております。例年有名な先生をお呼びして行っております。2日の方は高校生のボランティアをお願いして「テックレンジャー」を今年も行い、3日の方は今年は海老崎功先生をお呼びしてやっております。こんな形で毎年立派な先生をお呼びして、おもしろ科学工場のスタッフの研修会と、こどもたちの新しいワクワク体験をということで行っております。皆さんもよろしかったら来ていただければ嬉しいかなと思います。裏側の青い方のところに4月、5月のメニューというのが書いてあるんですけども、今日曜日に行っているんですが、この間3月で集計を取りましたら、1年間に日曜日だけで34回くらい年間やっているんですが、延べ人数が5,000人を超えていたので、コロナ前とほとんど同じ。コロナ前は第2週土曜日もやっていたんですけども、それに匹敵する人数が来ているということで、回数が減りましたが参加人数は増えていると。ここは4月、5月のメニューですが、その後に6月に図書館とコラボした「理科読」というのを行います。その次の週にゼロカーボン推進課と環境文化都市30周年でしたっけ、それとコラボしまして環境についての水素の実験を行います。7月には長野高専とコラボしましてロボコンの工作教室というのを行います。これは去年初めて行ったんですけども、全国大会まで出た子が、グループですけども全国で2位になったということで、こどもたちも随分育ってきているかなと。そこでのお母さんに言われた言葉が、こういう風に情報提供をしてほしいということと言われたんですね。やはりネットとかで知っていてもどうやって参加したらいいかわからないし、こういうことが身近に行くことによって

参加できるチャンスができるから是非企画してほしいと言われたので、やはり子どもたちにはそういう色々なことに対する情報提供ということもすごく大事ななと思っております。あと年間通しては9月に「たねの会」と言いまして、図書館とか美博、あと動物園、理科委員会ですか、そういうところとコラボして、今年は種に関するイベントを行いたいと思っております。そんな形で年間通して、色々な理科に関係するような、子どもにとって驚くようなことをやっていきたいなと思っております。また色々と参加していただければなと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

(小島 社会教育担当専門主査)

ありがとうございました。他にご発言のある委員さんいらっしゃいますでしょうか。

〈発言する者なし〉

では閉会といたしますが、通常ですとこの後に自主研究会を開催しておりますが、本日はオンライン開催のため、自主研究会は省略させていただきたいと思っております。ご了承ください。

9 閉会

(小島 社会教育担当専門主査)

以上をもちまして、第1回臨時会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。